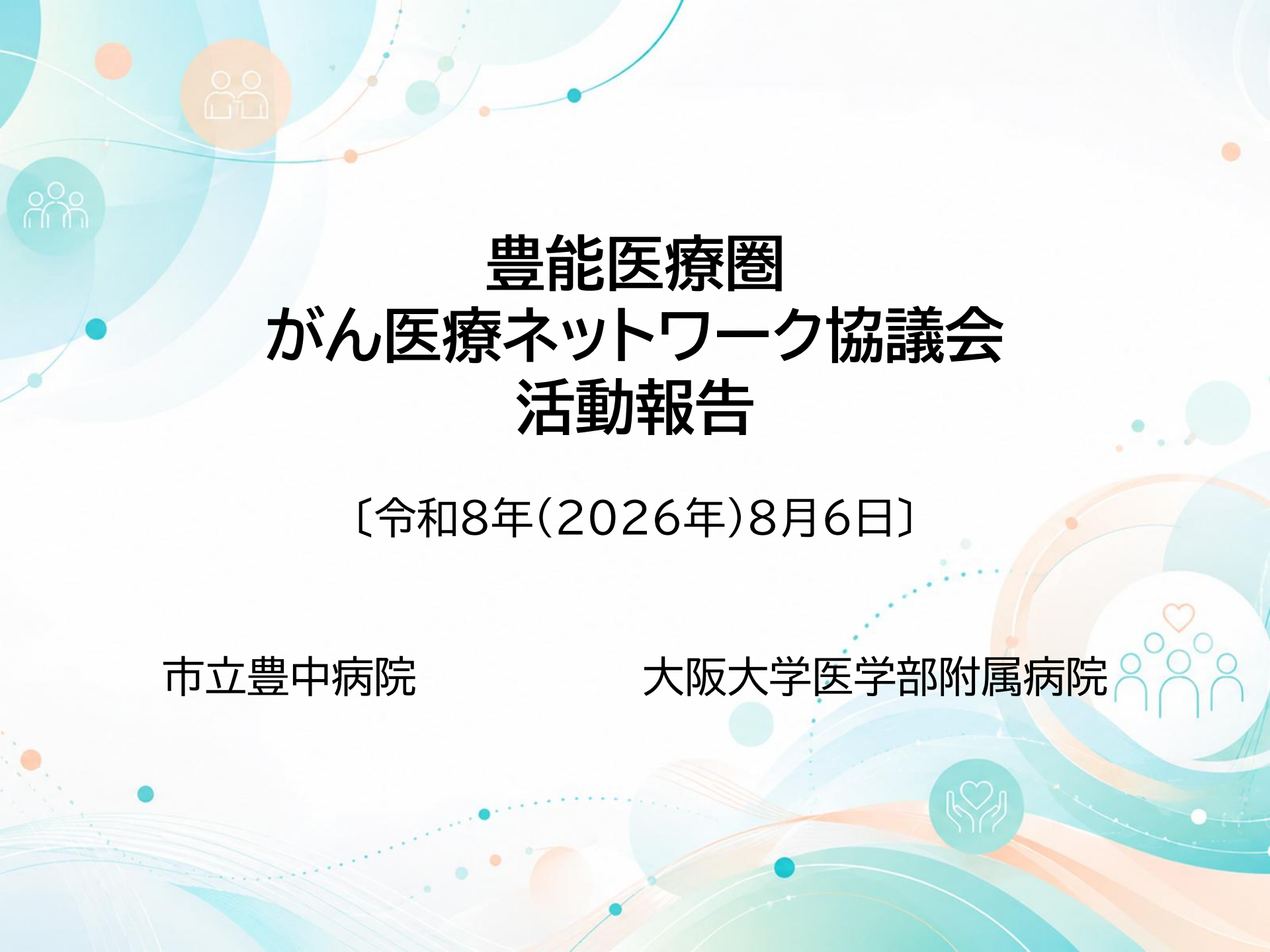




豊能医療圏 がん医療ネットワーク協議会 活動報告

〔令和8年(2026年)8月6日〕

市立豊中病院

大阪大学医学部附属病院

豊能医療圏がん医療ネットワークシステムの活動【2025年度】

【協議会の開催と情報共有】

- ・協議会を年2回開催(2025年7月1日／2026年2月19日・千里阪急ホテル)
- ・大阪府(健康づくり課):第4期大阪府がん対策推進計画、小児・AYA世代支援、現況報告のオンライン化などの情報提供を圏域内で共有

【データに基づく現状・将来の分析】

- ・大阪府がん診療連携協議会:がん登録データや拠点病院の診療状況をもとに豊能医療圏のがん医療提供体制を確認
- ・2040年を見据えた将来人口・がん罹患患者数・3大療法の需要推計を共有

【今後の診療体制の方向性】

- ・手術療法は緩やかに減少、放射線療法・薬物療法は増加の見込み
- ・医療機能の集約化と地域連携の強化が必要



2025年度組織図

豊能医療圏 がん医療ネットワーク協議会

【参加団体】

- ◆大阪府がん診療連携協議会
- ◆大阪府(健康づくり課)
- ◆医師会
- ◆保健所
- ◆市町
- ◆ホスピス・在宅診療所
- ◆大阪府訪問看護ステーション協会
- ◆がん診療(連携)拠点病院

がん登録部会

がん情報提供部会

緩和ケア部会

がん地域連携部会

がん相談支援部会

がん看護部会

がん研究部会

がん登録部会

- 2040年を見据えた豊能医療圏の将来人口推計の資料作成
- 三島、北河内医療圏合同で阪大病院統合診療棟の見学会を実施

がん情報提供部会

- がん教育の推進:小・中学校に講師派遣
- がん医療公開講座

豊能医療圏がん医療ネットワーク協議会主催

がん医療公開講座

よくわかる乳がんのこと～早期発見・治療のすすめ～

特別講演 乳がん向き合う～自分らしく生きていくために～

講師:モデル/NPO法人C-ribbons代表理事
藤森香衣さん

◆プロフィール
1976年 東京生まれ。
13才からモデルを始め、広告、CM(TV・Web)、テレビなどに中心に活動。
乳がんで友人を亡くした事をきっかけに、検診の重要性を知り、自分のしこりを見つ。
2012年乳がんを発見。
2013年大塚製薬と提携し、乳がん検診の重要性を伝えると共に、自身の経験を生かして、モデルの仕事も続けながら、検診活動を行っている。また、モデルとしての活動の際、テレビショッピングチャンネル4QVにて、自身がプロデュースするブランド商品の販売を行っている。
2015年 公益財団法人がん研究振興財団「がんサバイバーシップ研究支援事業推進委員会委員」就任。
2016年 サバイバーや見守る全ての人を笑顔にするために、よりよく生きる社会を実現するため、NPO法人C-ribbonsを設立、代表理事を務める。

パネルディスカッション
● 座長 大阪大学医学部附属病院
オンコロジーセンター長 島津研三

テーマとパネリスト
＝乳がん検診 吹田市健康医療部成人保健課主幹 川見知佳
＝乳がんの早期発見・治療 市立吹田市民病院 乳腺外科 吉岡節子
＝術後の生活とアピアランスケア 大阪府済生会千早富野院 若林由紀子

がん医療公開講座
豊中市、池田市、吹田市、箕面市、豊能町、能勢町にお住まいの方々に対して、がん医療公開講座を実施いたします。がんに関する情報をわかりやすく提供し、がんの正しい理解を深めていただくとともに、早期発見・早期治療につながる「がん検診」の啓発を目的とします。

令和8年(2026年) (開場)
2月1日(日)午後2:00～午後4:30 午後1:30
会場:千里ライフサイエンスセンター5階サイエンスホール
受講対象:豊能医療圏内の住民、
その他受講希望者 250人
申込方法はこちら
(豊中市電子申込システム)
申込締切:1月26日(月) **入場無料**

問合せ先:がん相談支援センター
TEL:06-6843-0101(内線3123)
Email:gan-shien@chp.toyonaka.osaka.jp

主 催/豊能医療圏がん医療ネットワーク協議会(がん情報提供部会)
後 援/大阪大学医学部附属病院、市立豊中病院、市立池田病院、箕面市立病院、市立吹田市民病院、大阪府済生会吹田病院、大阪府済生会千早富野院、国立病院機構大阪万代山病院、豊中市、池田市、箕面市、吹田市、豊能町、能勢町、豊中市医師会、豊中市薬剤師会、豊中市歯医師会、池田市医師会、池田市薬剤師会、池田市歯医師会、吹田市医師会、吹田市薬剤師会、吹田市歯医師会、箕面市医師会、箕面市薬剤師会、箕面市歯医師会

緩和ケア部会

- 地域連携リレーシートの普及と実践:改定版を各施設で運用中
- 地域連携カンファレンス:同業施設ごとの話し合い
 - 在宅診療施設:24時間オンコール体制維持、多職種協働の工夫、急性期病院やホスピスとの連携などについて意見交換
 - 急性期病院:緩和ケア提供体制強化のために、各施設の現状や運営の工夫、課題などを共有

がん地域連携部会

- パネル検査啓蒙ポスター作成後のモニタリング
- AYA患者がタイムリーに捕捉される仕組みの検討

がん相談支援部会

- 療養・就労両立支援指導料：相談は多いが算定は低調
- 困難事例への相談対応の向上：WEB会議を2回実施
- 訪問診療医の情報を各施設でリスト化し共有

がん看護部会

- ELNEC-J研修の開催：38人が修了
- 各施設研修の相互受入：共通の評価指標を作成
- 合同研修の実施：ACPに対する取り組み

がん研究部会(阪大病院単独)

- 小児がん対策・造血幹細胞移植の推進
- がん研究の推進：多施設臨床研究・臨床研究中核病院
・がんゲノム医療中核拠点病院
- 先進医療B 3件等の推進・人材育成

豊能医療圏がん医療ネットワークシステムの活動【2026年度】

【協議会の開催と情報共有】

- ・第1回協議会を開催(2026年6月18日・千里ライフサイエンスセンター)
- ・大阪府(健康づくり課):第4期がん対策推進計画の中間点検・見直し、妊よう性温存治療費助成の拡充、現況報告書のオンライン提出化を共有

【データに基づく診療体制の検討】

- ・大阪府がん診療連携協議会:「今後のがん診療体制(2)がん種別・治療法別の検討」を共有
- ・高齢者人口・がん罹患者数は2050年まで増加、手術は微減・放射線・薬物は増加

【今後の運営と体制】

- ・大阪府がん診療連携協議会の部会新設に対応し、7部会へ再編(次頁参照)
- ・各部会の2026年度活動計画を報告し、圏域全体で意見交換
- ・第2回協議会は2027年2月頃開催予定



2026年度組織図

豊能医療圏 がん医療ネットワーク協議会

【参加団体】

- ◆大阪府がん診療連携協議会
- ◆大阪府(健康づくり課)
- ◆医師会
- ◆保健所
- ◆市町
- ◆ホスピス・在宅診療所
- ◆大阪府訪問看護ステーション協会
- ◆がん診療(連携)拠点病院

【2026年度 部会再編】

大阪府がん診療連携協議会の部会新設に対応し部会リーダー会議での検討を経て再編した。

- ①「がん登録部会」と「がん情報提供部会」を統合し「がん登録・情報提供部会」を新設
- ②「がん地域連携部会」の一部を新設部会(薬物療法・がんゲノム医療部会)へ再編
- ③「薬物療法・がんゲノム医療部会」を新設
- ④「がん栄養・リハビリテーション部会」を新設

がん登録・情報提供部会

緩和ケア部会

がん相談支援部会

薬物療法・がんゲノム
医療部会

がん栄養・リハビリ
テーション部会

がん看護部会

がん研究部会

がん登録・情報提供部会

- 3医療圏の院内がん登録データを比較分析
- 院内がん登録データの情報公開に向けた検討

緩和ケア部会

- 在宅・連携合同カンファレンス:対象施設を拡大
- 急性期病院カンファレンス:PEACE研修会の運営等

がん相談支援部会

- がんサロンの運営:各施設の現状把握と情報共有
- 困難事例への相談対応の向上:WEB会議等で継続

薬物療法・がんゲノム医療部会

- 外来化学療法に関する各施設情報の収集・共有
- がん遺伝子パネル検査の認知度向上(現状約42%)

がん栄養・リハビリテーション部会

- がん周術期のリハビリ・栄養管理：現状把握
- 自宅療養へ戻すためのリハビリ・栄養管理
- 化学療法中のADL維持に必要な取組みの検討

がん看護部会

- ELNEC-J研修の実施（大阪府済生会千里病院が主体）
- 部会主催研修／院内研修の公開・相互受入

がん研究部会（阪大病院単独）

- 小児がん対策・造血幹細胞移植の推進
- がん研究の推進：多施設臨床研究・臨床研究中核病院
・がんゲノム医療中核拠点病院
- 先進医療の推進（先進医療B 3件）・人材育成

がん研究部会(阪大病院単独)

(1)小児がん対策

● 小児がん診療に関わる医療機関ネットワークの構築

大阪大学医学部附属病院は、厚労省認定小児がん連携病院、大阪府認定府小児がん拠点病院である。小児がん拠点病院や大阪府内の小児がん診療施設と連携し、特に豊能・北摂地域の小児がん患者の質の高い診断・診療に取り組んでいる。難治性血液悪性腫瘍、固形腫瘍、骨軟部腫瘍、脳腫瘍、網膜芽細胞腫などについては近隣はもちろん、大阪府内から患者が集積しており、小児科、小児外科、眼科、整形外科、脳神経外科などと連携して治療にあたっている。

造血細胞移植も積極的に施行しており、血縁、非血縁（骨髄バンクなど）、臍帯血のすべてに対応している。また、2020年からはキメラ抗原受容体（CAR）-T抗原療法認定施設として、難治性白血病の治療に取り組んでいる。

さらに、AYA世代のがんに対しても積極的に加療を行っている。

妊孕性温存などの生殖医療については、大阪大学生殖医療センターと連携し、綿密な説明のうえ必要性に応じて、卵巣凍結を含む医療提供を行っている。

小児科外来では、治療後の長期フォローアップ外来を設置している。一生を通じて質の高い生活を送ることができるように多診療科による医師、看護師（研修会受講済）、臨床心理士、薬剤師、ソーシャルワーカーなどの多職種による支援を行っている。

(2)造血幹細胞移植の推進

● 造血幹細胞移植の現状

同種造血幹細胞移植の件数は年間21件（2025年）である。移植の幹細胞ソースとしては血縁（骨髄、末梢血幹細胞）、骨髄バンク（骨髄、末梢血幹細胞）、臍帯血のすべてに対応しており、昨年は末梢血幹細胞を用いた移植が3/4となっていた。また造血器腫瘍に対する免疫細胞治療としてCAR-T療法を2020年より開始し、2025年は30件施行している。

(3)がん研究の推進

● 多施設臨床研究の推進（特定非営利活動法人SCCRE（エスキュール））

がん臨床研究を実施する7つの研究会（消化器がん、乳がん、肺がん、泌尿器系がん、骨髄腫等）を支援している。

● 臨床研究中核病院

平成27年8月に臨床研究中核病院の認定を受けた。未来医療開発部の支援の下、がん薬物療法の治験治療等、質の高い臨床研究を推進している。

● がんゲノム医療中核拠点病院

- ・「がんゲノム医療を総括する部門の設置」として、がんゲノム医療センターを設置し、平成30年2月にがんゲノム医療中核拠点病院の指定を厚生労働省より受け、令和5年3月に引き続き指定を受けた。（指定期間：令和9年3月31日まで）

- ・令和8年6月時点で、がんゲノム医療拠点病院（全国に32病院、うち大阪府下2病院）、及びがんゲノム医療連携病院（大阪府下5病院）と協力して、がんゲノム医療の社会実装を推進している。

（協力している大阪府下7病院：【拠点】大阪国際がんセンター、近畿大学病院
【連携】大阪公立大学医学部附属病院、大阪急性期・総合医療センター、大阪労災病院、堺市立総合医療センター、市立豊中病院）

- ・平成30年10月より先進医療B「マルチプレックス遺伝子パネル検査」を実施した。（199例登録）

- ・令和元年9月中旬より保険診療下でのがん遺伝子パネル検査の受付を開始している。令和8年6月現在、固形腫瘍に対する検査は以下の5種類を実施している。

OncoGuide™ NCCオンコパネル システム、FoundationOne ®CDx がんゲノムプロファイル、FoundationOne®Liquid CDx がんゲノムプロファイル、Guardant360®CDx がん遺伝子パネル、GenMineTOP®がんゲノムプロファイリングシステム 造血器腫瘍に対するヘムサイト®は、令和7年3月に保険適用となり、6月より受付を開始し検査を行っている。

（令和元年:96件、令和2年:224件、令和3年:255件、令和4年:259件、令和5年:251件、令和6年:275件、令和7年:285件+ヘムサイト35件、令和8年:103件+ヘムサイト21件(令和8年5月まで)）

● **がんゲノム医療中核拠点病院**

・令和元年10月から、国立がん研究センター中央病院が調整事務局となり実施する「遺伝子パネル検査による遺伝子プロファイリングに基づく複数の分子標的治療に関する患者申出療養（受け皿試験）」が特定臨床研究として開始された。当院も共同医療機関として実施している。

・令和4年9月より、AMED全ゲノム研究（患者還元班）に参加し、難治がん・希少がんに対する全ゲノム解析研究を実施している。（令和4年度:100例登録、エキスパートパネル開催95例、令和5年度:99例登録、エキスパートパネル開催97例、令和6年度:140例登録、解析終了、令和7年度：110例の同意を取得した。）

(4)先進医療の推進

● **以下の先進医療を現在実施中である（R8.6.1）**

1.術後のアスピリン経口投与療法 下部直腸を除く大腸がん（先進医療B）

2.術前のゲムシタビン静脈内投与及びナブーパクリタキセル静脈内投与の併用療法 切除可能な膵臓がん（七十歳以上八十歳未満の患者に係るものに限る。）（先進医療B）

3.アナモレリン塩酸塩経口投与 体重減少（食道がんに対する食道亜全摘胃管再建術又は胃がんに対する噴門側胃切除術若しくは胃全摘術を実施したものに限る。）（先進医療B）

(5) 人材育成

- **がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン（大学院）**

155名（2026年度）

（薬物療法、放射線治療、外科治療、緩和医療、医学物理、がん病理、細胞診、がん看護、小児がん、ゲノム医療、創薬など）